

認証年度: 令和3(2021)年度

輸送用機械器具



株式会社竹中



〒327-0816

栃木県佐野市栄町7-2

<http://www.takenaka-tac.co.jp/>

佐野藤岡I.C.から3km

お問い合わせ先

TEL:0283-23-2633

FAX:0283-22-7055

Email:takenaka-info@takenaka-tac.co.jp



ここがセールスポイント 高強度ダクタイルFCD800に対する安定量産加工が得意です。

普通鋳鉄、ダクタイル鋳鉄の加工技術を基盤として、高強度ダクタイルの課題とされる薄肉製品への切削抵抗によるビリの発生を抑制させる治具設計と、切削工具の選定及び加工条件の設定に関するノウハウを有しています。

会社概要

代表者名 竹中 彰一

資本金 5,300万円

年商 50億円

従業員数 120名

設立 昭和45年12月

取得規格 IATF16949/エコアクション21

主な拠点・主要取引先

拠点: 本社・鍛造工場(佐野市)、藤岡工場(栃木市)

主要取引先: 三菱ふそうトラック・バス(株)、(株)IJTT、ボッシュ(株)

事業内容

自動車部品・産業用部品の製造

わが社の得意とする《FCD800などの難削材加工》にはこんな特徴があります！



FCD800相当材ATSブラケットASSY

高強度ダクタイルは薄肉形状でも製品要求の靱性などを満たすことができるため、製品が薄肉化される傾向にあります。一方で薄肉化されることで切削加工時に発生する抵抗が振動に繋がって、ビリといった現象が起きて面品位が損なわれることがあります。そこで当社が培った技術により、適切な治具設計を行うことで、要求品質を満足した上で生産性の高い工程を構築することが可能になります。



代表取締役
竹中 彰一

社長からのメッセージ

みなさんの身近にあるクルマは大きささまざまな部品を組み合わせで作られています。当社では数ある部品の中でもエンジン部品やミッション部品といったクルマを動かすために欠かせない部品を製造しており、更にはロボットや鉄道分野でも当社の技術は使われています。常に最先端の機械加工技術を取り入れ、挑戦を続けてきた当社。「チーム竹中」はこれからものづくりの未来を創っていきます。

その他にもこんなものを造っています！ 最先端を行く竹中、挑戦は止まらない。

当社は次世代ニーズに対応していくため、常に先進技術の動向に注目しています。例えば、国内では実績の少ない難削材の加工や複雑形状品の切削加工に取り組んだり、縦型・横型の大型マシニングセンタやミーリング付き大型縦型旋盤といった最新設備を導入したりと、日々挑戦を続けています。こうした先端技術を取り入れてきた当社の姿勢は、多くの企業から認められ、数々の表彰や優良企業認定証を頂いています。そんな当社の次なる目標は、無人運転の実現。少量多品種の生産に対応すべく、夜間・休日の無人運転を目指し、計画を進めています。

